



M コマンド

この章では、M で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

maximum-paths (FabricPath)

宛先ごとのパスの最大数を設定するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *paths*

no maximum-paths *paths*

構文の説明

paths 宛先あたりの最大パス数。指定できる範囲は 1 ~ 16 です。

デフォルト

デフォルト値は 16 です。

コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、宛先ごとのパスの最大数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# maximum-paths 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

max-lsp-lifetime (FabricPath)

最大リンクステート パケット (LSP) のライフタイムを設定するには、**max-lsp-lifetime** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

max-lsp-lifetime *value*

no max-lsp-lifetime *value*

構文の説明

value 最大 LSP ライフタイム (秒単位)。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

コマンド デフォルト

1200 秒

コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LSP の最大ライフタイムは、LSP のリフレッシュ間隔よりも大きな値にする必要があります。このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、リンクステート パケットが持続する最大時間を 11,000 秒に設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# max-lsp-lifetime 1300
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

mode (FabricPath)

FabricPath フォワーディングの FabricPath VLAN として VLAN を設定するには、**mode** コマンドを使用します。FabricPath VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

mode {ce | fabricpath}

no mode {ce | fabricpath}

構文の説明

ce	クラシカル IEEE 802.1Q イーサネット (CE) VLAN として VLAN をイネーブルにします。これはデフォルトの VLAN モードです。
fabricpath	FabricPath VLAN として VLAN をイネーブルにします。

コマンド デフォルト

デフォルトの VLAN モードは **ce** です。

コマンド モード

VLAN コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにしていることを確認します。



(注)

FabricPath を使用して VLAN モードを設定するには、あらかじめ VLAN を作成しておく必要があります。

ネットワーク上で FabricPath トラフィックを伝送する VLAN を指定するには、その VLAN を FabricPath VLAN として設定します。デフォルトでは、すべての FabricPath VLAN と FabricPath インターフェイスはデフォルトの FabricPath トポロジに追加されます。

スイッチ仮想インターフェイス (SVI) が VLAN でイネーブルになっていない場合のみ、すべての FabricPath VLAN が会話型学習を使用します。イネーブルになっている場合、FabricPath VLAN は従来型学習を使用します。

FabricPath VLAN のみが会話型学習をサポートします。CE VLAN は従来型学習だけをサポートします。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath VLAN として VLAN を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vlan 5
switch(config-vlan)# mode fabricpath
switch(config-vlan)#
```

次に、FabricPath VLAN を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vlan 5
switch(config-vlan)# no mode fabricpath
switch(config-vlan)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature-set fabricpath	スイッチで FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。
show fabricpath topology vlans	レイヤ 2 トポロジの VLAN を含む、FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジに関する情報を表示します。

